

神津カンナプロデュース 耳で読む文学第17弾

山本周五郎 × 宇野千代

# 知られざる素顔

10/10<sup>2026</sup> 土 14:00 開演 (13:30 開場)  
府中の森芸術劇場 ふるさとホール

※出演者・内容等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。



神津カンナ



神津はづき



富沢亜古



大場泰正



坂田美子(琵琶)

演目

山本周五郎:末國善己編『山本周五郎[未収録]ミステリ集成』(作品社)所収  
宇野千代:『老女マノン・脂粉の顔 他四篇』(岩波文庫)、『幸福を知る才能』(集英社文庫)

Fivo Plus会員割引対象公演 全席指定 ¥3,700 ※未就学児の入場はご遠慮ください

予約開始日 Fivo Plus会員 6月27日[土] Fivo Free会員 6月30日[火] 一般 7月3日[金] ※予約開始日は10:00~  
チケットお申込み ※予約開始日は店頭での販売はありません。販売は翌日から。

■ Fivo (パソコン・スマホ)  
[24時間受付 ※予約開始日は10:00~]  
※ご利用には会員登録が必要です。  
※チケット料金のほかに手数料がかかります。



■ チケットふちゅう 042-333-9999  
[10:00~17:00 ※劇場休館日は休業]  
※Free会員は一般予約開始日よりご利用いただけます。

■ チケットぴあ  
<https://t.pia.jp>  
[Pコード541-160]



- 新宿から京王線で約30分、東府中駅北口下車、徒歩約7分
- JR中央線武蔵小金井駅から
- ・東府中駅行バス(東府中駅下車、徒歩約7分)
- ・府中駅行バス(一本木経由)第二小学校下車、徒歩約10分
- ・南口からタクシーで約15分

※ご来場の際は電車・バスをご利用ください。

[主催]

公益財団法人 府中文化振興財団  
府中の森芸術劇場

<https://www.fuchu-cpf.or.jp/theater/>

Twitter @fuchu\_theater  
Facebook @FuchuTheater

▼ホームページ



# 山本周五郎×宇野千代 知られざる素顔

今回は「山本周五郎」と「宇野千代」を取り上げます。しかし!「耳で読む文学」が取り上げるのだから、ちょっとひねりを加えました。山本はデビュー直後は、少年少女雑誌に探偵小説や伝奇小説を書いていたし、宇野は、当初は鮮烈な反逆精神や批判精神むきだしのものを発表しつづけていました。しかし両者とも年月を経て、異なる分野で、初期作品とは全く異なる文章で、成功を取めたのです。もちろん紆余曲折、回り道は誰にでもあります。でもその流れるものは根底に「何か」共通点があるのです。それは何なのか。今回は探してみたいと思います。初期作品を封印、あるいは、昇華させて大きな金字塔を立てた二人を見ると、色々なことを考えます。そして、みなさんお一人お一人の中にも、きっとそういうものがあるのだと気づきました。それを探るのが、今回の「耳で読む文学」です!

神津カンナ



## 神津カンナ

作曲家の神津善行、女優の故中村メイコの長女として東京に生まれる。東洋英和女学院にて、幼稚園から高等部まで学び、その後、渡米。アメリカのサラ・ローレンス・カレッジにおいて、演劇を学ぶ。帰国後第一作の「親離れするとき読む本」は、体験的家族論として注目され、ベストセラーとなる。以後、執筆活動の他、テレビ、ラジオの出演、講演、また、公的機関や民間団体の審議委員なども数多く務めて精力的に活動。さまざまな分野をクロスオーバーさせて問題提起する、その発言や文章は、豊かな感性と冷静な視点に支えられ、幅広い層から支持されている。家族は両親の他、祖父がナンセンス文学作家の故中村正常、妹が女優の神津はづき、弟がスペイン在住の画家、神津善之介という、筋金入りの自由業一家である。また、講演テーマも幅広い。20年続いた福祉に関するラジオに裏打ちされた社会福祉関連。同じく30年以上勉強を続けているエネルギー、環境の問題。また、家庭論、男女共同参画関連、国際協力などの講演も行っている。



## 神津はづき

1962(昭和37)年、東京都生まれ。東洋英和女学院高等部を卒業後、ニューヨークへ留学。帰国後、母の後を継いで女優となる。現在は年に2回ほど俳優、月に2回ほど刺繍の先生をする他、本物の大人に必要なアイテムを製作しようと受注ブランド「Petit

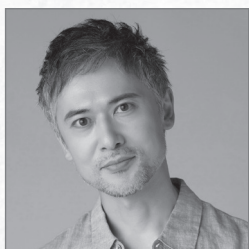
Tailor R-60」を展開中。女優・故中村メイコとの日々を綴った初著作となるエッセイ「ママはいつもつけまつげ」(小学館)が好評発売中。



## 富沢亜吉

1979年文学座本公演「丸山蘭水楼の遊女たち」で舞台デビュー。出演作は、映画「写楽」「瀬戸内ムーンライトセレナーデ」「三文役者」「夜の哀しみ」他。舞台「女の一生」「かもめ」「日陰者に照る月」「セールスマンの死」「殿様と私」「怪談 牡丹燈籠」「山羊…

それって…もしかして…シルビア?」「ウィット」「撰」他多数。「令嬢ジュリー」T.P.Tで、第7回読売演劇賞優秀女優賞受賞。都立総合芸術高校講師。



## 大場泰正

東京都出身。1993年、早稲田大学在学中に文学座附属演劇研究所入所、2020年3月退団。映画を中心に舞台、ドラマなど幅広く活動。最近の主な出演作に【舞台】『メアリー・ステュアート』(演出 栗山民也)、『リア王』(演出 フィリップ・ブリーン)、『白衛軍

The White Guard』(演出 上村聡史)、『音楽劇 人形の家』(演出 西川信廣)、『ダディ』(演出 小川絵梨子)【映画】『BAD LANDS バッド・ランズ』、『ヘルドッグス』、『燃えよ剣』、『関ヶ原』、『日本のいちばん長い日』(以上、原田真人監督)はじめ、『新幹線大爆破』(樋口真嗣監督)、『忌怪島/きかいじま』(清水崇監督)、『海辺の映画館 キネマの玉手箱』(大林宣彦監督)、『MOTHER マザー』(大森立嗣監督)など【ドラマ】『スティンガース 警視庁おとり捜査検証室』(CX)、『十津川警部の事件簿』シリーズ(TX)など。



## 坂田美子

中学より10年間、琵琶を半田淳子に師事。以後、謡曲を浅見重好、講談を神田松鯉、朗読を斉藤由織に学ぶ。古典原文から現代語まで、琵琶・歌・語りによる独自の琵琶語りを多数創作。NHKTV『名曲アルバム』

では「壇ノ浦」を自作自演。『新日本紀行ふたたび』テーマ曲の作詞と歌を担当。富田勲作曲『源氏物語幻想交響絵巻』では琵琶・歌・語り部を担当。国内外での公演の他、琵琶普及の為の講座や後進の指導にも注力。